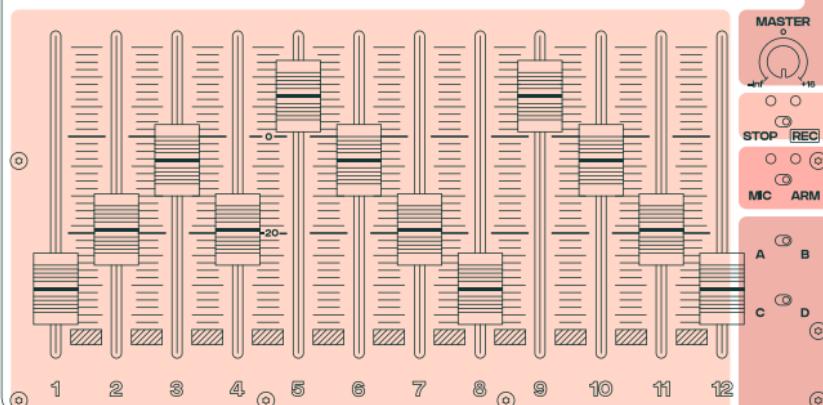
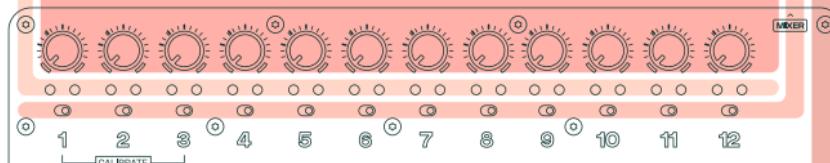


# FINGER CONTROL SURFACE | 12 CHANNELS

LED表示  
黄:PFL  
赤:録音アーム中

PFLボタン  
該当チャンネルのPFLモニターを有効化

トリム チャンネル1~12の入力ゲイン調整



フェーダー フェーダーチャンネル1~12

アサイン可能ボタン

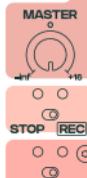
A/B/C/D および MASTERノブ押下に各種機能にマッピング可能  
複数ボタンの組み合わせにも対応

MASTERノブ  
任意のバスまたは  
アウトプットに  
アサイン可能

トランスポート  
(STOP / REC)  
ボタン

レコーダー  
状態を表示:

赤:REC  
黄:STOP



MIC/ARM  
ボタン

MIC:  
ストレートマイクを  
有効化  
マイクON時、  
LED (黄) が点灯

ARM:  
ARMを押しながら  
PFLボタンで  
各チャンネルの  
録音アーム切替



## MASTERノブの設定

MASTERノブをBusまたはOutputに割り当てる:

- メインメニューを開く
- Controllers > Third Party Controllers
- > Main Fader
- MASTERノブに割り当てるBusもしくはOutputを選択して割り当てる

## ボタンのマッピング

A/B/C/D ボタンおよびMASTERノブ押下の設定:

- メインメニューを開く
- Controllers > Mapping
- 「Learn」を有効化する
- 割り当てるボタンを押す
- MIDIコードが表示される
- 「SELECT」で機能を選択する
- 他のボタンも同様に設定する

?:「Name」で名称設定可能

?:設定は本体に保存され、「Save / Load」で呼び出し可能

## マッピング例:

- Bus Mode
- Fader Bank Left / Right (\*)
- \*MCUプロトコルの8chブロック制御の都合でFCS-12では後半ブロックの末尾4ch (単体使用時13~16ch) が無効になります
- Out Mode
- Circle Take, False Take
- Returns, Com Send, Com Return
- Favorite HP Preset

## フェーダーキャリブレーション

- USBケーブルを抜く
- 全フェーダーを正確に0dBに合わせる
- PFLボタン1と3を同時に押しながらUSBケーブルを再接続して起動